「院内掲示用文書」

**室蘭市の子宮頸がん検診の未受診の方へのお願い**

「**子宮頸がん検診の住民検診未受診者に対する研究」への協力のお願い**

1：研究の対象

2019年までの5年間の間に、住民検診を受けていない室蘭市の20歳～69歳までの方

2：研究目的・方法・意義

日本は先進国で唯一、子宮頸がんが増加している国です。特にここ20年ほどの患者数をみると、20代で約10倍に、30代も約3倍と特に若い年齢層で増加が目立っています。その理由の一つに、子宮頸がん検診の受診率が低いことが考えられます。

子宮頸がんは、性行為で感染するヒトパピローマウイルス（HPV）が原因であることが多く、HPV検査は先進諸外国では新しい子宮頸がん検診の検査法になっています。

この研究では、住民検診を受けていない方に案内を送り、同意いただいた住民の方に自己検診（尿採取）によるHPV検査を行ってもらい、陽性の方には病院受診を勧めます。自己検診が子宮頸がん検診の受診率を上昇させたり、自己検診することで子宮頸がんの早期に発見につながるか、という研究です。

4：個人情報の管理について

室蘭市が2019年までの5年間に住民検診を受けていない方へ案内をお送りし、札幌医科大学産婦人科に個人情報が伝わってもよいと同意いただいた方に、この研究の同意書と自己検診キッド（尿採取HPV検査または自己採取HPV検査の容器）を送ります。札幌医科大学から検査会社に検査を提出する際は、匿名化します。

5：研究組織

札幌医科大学医学部　産婦人科学講座

研究責任者　助教：寺田倫子

研究分担者　講師：松浦基樹

6：研究予定期間

学長承認日～2024年3月31日

7：予定症例数

室蘭市の住民検診を受けていない方、約2000例

8：問合せ先

この研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報に支障がない範囲で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますので、お申し出ください。

9：同意の撤回について

同意書に記載いただいた方にのみ、この研究に参加していただきますが、一度同意したものの同意を撤回したくなった場合は、同意書と一緒に同封してお送りした「同意撤回署」を下記の連絡先にお送りください。同意撤回したい方で同意撤回署を紛失した場合も下記にご連絡ください。

10:研究結果の公表

この研究は氏名・生年月日など個人が特定できるデータをわからない形にして学会や論文で発表しますのでご了解ください。

照会先および研究の連絡先：

〒060-8543　北海道札幌市中央区南1条西16丁目

札幌医科大学附属病院　産婦人科

研究責任者　寺田倫子

電話：011-611-2111　内線33680　（平日　9：00～17：00）

FAX：011-621-8059　（休日・時間外　17：00～9：00）